令和５年度事業報告書

１　健全な青少年育成活動への援助推進

(1) 少年補導団体への活動資金援助

京都府少年補導連絡協議会加盟の京都市少年補導委員会等府内２４の少年補導団体（構成員約１万２千名）への青少年健全育成に係る補導活動助成費として総額３４９万円を助成しました。

これらの助成金は各団体において効果的に活用され、各種の青少年健全育成活動に資することができました。

この援助活動を通じ、当協会への期待と信頼・感謝が一層高まりました。

(2) 「みちびき」の発行

青少年の健全育成に関する当協会発刊の機関誌「みちびき」は、各号ごとにテーマを決め誌面の充実を図るとともに、夏・冬の２回、年間１万７千部を発行しました。

２　適正な協会業務の運営推進

(1) 公益法人制度への適正な対応

平成24年４月１日付で公益社団法人の設立が完了したことに伴い、平成20年「公益法人会計基準」に則った適正な経理処理を執行するとともに、インターネットを活用した公開募集の助成事業を実施し、引き続き公益法人制度の趣旨に沿った適正な対応を推進しました。

また、京都府への電子報告及び法務局への登記は、遅滞なくその都度、京都府（総務調整課）に関係書類とともに電子報告を行いました。

(2) 会員募集活動の強化と協会業務の広報

会員の募集活動については、未だコロナ過の不安が残っている状況下で積極的な募集活動ができない中で、新規会員は２名を獲得することができました。

しかし、退会する会員が７名となり、令和５年度中の年間会費収入は、３１万９千円減収となりました。今春から景気も良くなる兆しが見られることから、今後も引き続き会員の獲得活動を強化していきます。

(3) 情報公開の実施

当協会情報公開規程に基づき、機関誌「みちびき」への掲載及びインターネットホームページの活用により、より広く適正な情報公開に努めました。

３　協会員の異動状況

会員別	5.3.31現在	6.3.31現在	増　減	備考
特別会員	２２名	２１名	△１名	
賛助会員	３２名	３２名	０名	
普通会員	１７６名	１７２名	△４名	
計	２３０名	２２５名	△５名	